

藻 類

THE BULLETIN OF JAPANESE
SOCIETY OF PHYCOLOGY

昭和 45 年 8 月 August 1970

目 次

コンブモドキの生態と構造について.....	黒山 木田 宗尚 49
アミジグサ目の形態発生 VII. ヘラヤハズの 四分孢子形成について.....	熊谷 信孝 53
ハイウスバノリの体構造と生殖器官について.....	三上 日出夫 60
コノハノリの生長点及びプロカルプについて.....	三上 日出夫 67
テングサ類の表皮細胞の形態と配列.....	赤塚 伊三武 72
ホシミドロ科植物における孢子形成に ついての二三の観察.....	森通 保 77
ノリの化学組成と環境要因との関連について.....	富士川 龍正 82
最近のブラシノ藻綱の研究 (I).....	堀原 輝三 88
台湾及びポルトガルにおけるオゴノリの 多産地.....	瀬木 紀男 96
モナコ海洋博物館の海藻展示.....	瀬木 紀男 98
カーン女史の来学.....	瀬木 紀男 98
新著紹介: 「寒天ハンドブック」.....	100
第12回太平洋会議関連海藻採集旅行実施のおしらせ.....	101
学 会 録 事.....	101

日 本 藻 類 学 会

JAPANESE SOCIETY OF PHYCOLOGY

日本藻類学会々則

第1条 本会は日本藻類学会と称する。

第2条 本会は藻学の進歩普及を図り、併せて会員相互の連絡並に親睦を図ることを目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。

1. 総会の開催（年1回）
2. 藻類に関する研究会、講習会、採集会等の開催
3. 定期刊行物の発刊
4. その他前条の目的を達するために必要な事業

第4条 本会の事務所は会長が適当と認める場所におく。

第5条 本会の事業年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第6条 会員は次の3種とする。

1. 普通会員（藻類に関心をもち、本会の趣旨に賛同する個人又は団体で、役員会の承認するもの）。
2. 名譽会員（藻学の発達に貢献があり、本会の趣旨に賛同する個人で、役員会の推薦するもの）。
3. 特別会員（本会の趣旨に賛同し、本会の発展に特に寄与した個人又は団体で、役員会の推薦するもの）。

第7条 本会に入会するには、住所、氏名(団体名)、職業を記入した入会申込書を会長に差出すものとする。

第8条 会員は毎年会費800円を前納するものとする。但し、名譽会員（次条に定める名譽会長を含む）及び特別会員は会費を要しない。外国会員の会費は3米ドルとする。

第9条 本会には次の役員を置く。

会長 1名。 幹事 若干名。 評議員 若干名。

役員任期は2ケ年とし重任することが出来る。但し、会長と評議員は引続き3期選出されることは出来ない。

役員選出の規定は別に定める。（付則第1条～第4条）

本会に名譽会長を置くことが出来る。

第10条 会長は会を代表し、会務の全体を統べる。幹事は会長の意を受けて日常の会務を行う。

第11条 評議員は評議員会を構成し、会の要務に関し会長の諮問にあずかる。評議員会は会長が招集し、また文書をもって、これに代えることが出来る。

第12条 本会は定期刊行物「藻類」を年3回刊行し、会員に無料で頒布する。

（付 則）

第1条 会長は国内在住の全会員の投票により、会員の互選で定める（その際評議員会は参考のため若干名の候補者を推薦することが出来る）。幹事は会長が会員中よりこれを指名委嘱する。

第2条 評議員の選出は次の二方法による。

1. 各地区別に会員中より選出される。その定員は各地区1名とし、会員数が50名を越える地区では50名までごとに1名を加える。
2. 総会において会長が会員中より若干名を推薦する。但し、その数は全評議員の1/3を越えることは出来ない。

地区割は次の7地区とする。

北海道地区。東北地区。関東地区（新潟、長野、山梨を含む）。中部地区（三重を含む）。近畿地区。中国・四国地区。九州地区（沖縄を含む）。

第3条 会長及び幹事は評議員を兼任することは出来ない。

第4条 会長および地区選出の評議員に欠員を生じた場合は、前任者の残余期間次点者をもって充当する。

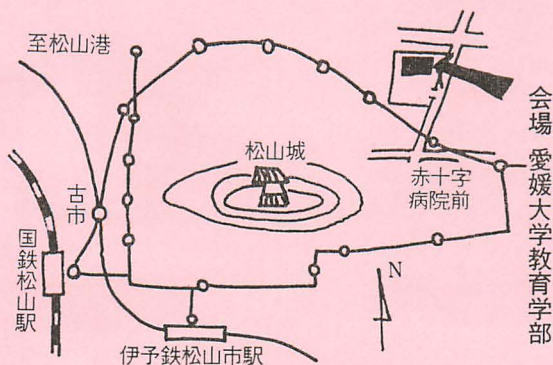
第5条 会員がバックナンバーを求めるときは各巻800円、分冊の場合は各号270円とし、非会員の予約購読料は各号400円とする。

第6条 本会則は昭和44年4月1日より施行する。

日本藻類学会昭和45年度大会についてのお知らせ

日本藻類学会昭和45年度大会として、下記のスケジュールで、講演、総会、懇親会をおこないます。準備の都合上、参加希望者は9月30日(水)までに、〒657 神戸市灘区六甲台 神戸大学理学部生物学教室 熊野 茂 までハガキで連絡して下さい。

1. 日時：昭和45年10月18日(日) 午後6時～9時
2. 会場：松山市文京町3 愛媛大学教育学部，D会場
3. 総会
4. 講演：尾形英二“キール大学海洋研究所を訪ねて”
5. 会費：500円



“催しと消息”欄の新設

日本各地で本学会と関係のある催し、例えば或地方での採集会とか講習会とかが開かれた場合その模様等について御投稿下さい。地名または会場名、期日、参加者数、講師名等だけでもお知らせ下さい。また地方中央を問わず会員が何らかの賞を受けたとか、標本のまとまったコレクションがあるとか、蔵書の紹介とか、会員相互の勉強や研究または親睦に役立つと思われる事柄を何でもお知らせ下さい。

「藻類懇話会」の開催

長らく中断されていた藻類懇話会が阪大および神大のメンバーで再開され、6月13日阪大教養部で村上昭八氏の海産硅藻 *Phaeodactylum tricorneratum* についてと題する講演をきき8mm映画をみて、討論を行なった。参加者は15名。この懇話会は不定期で今後も続けられることになっている。

